

20 蓬萊雲鶴詩絵書棚

六角紫水ほか 1基 大正6年(1917)
木製漆塗、蒔絵、螺鈿
45.5×106.0×90.0

立太子礼に際して、皇太子(昭和天皇)が大正天皇と貞明皇后に献上する品として、この書棚と料紙箱、硯箱の一揃の制作が、東宮職より東京美術学校に依頼された。作者の六角紫水(1867~1950)が、一度辞した同校に再び戻る契機となった作品でもある。書棚の形式や表面の文様は正倉院宝物の意匠に範を得て黒漆地に研出蒔絵で加飾する一方、扉内側には螺鈿と平文で桜紅葉樹を表すといった紫水独自の創意も見られる。

<展示 第2期-20>



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝いわい美のび——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections